



No.101

さいばいニュース

公益財団法人
神奈川県栽培漁業協会

発行所 〒238-0237
神奈川県三浦市三崎町
城ヶ島養老子
☎ 046(882)6980
FAX 046(881)2233

新年あけましておめでとうございます。
昨年中は、神奈川県栽培漁業協会の事業に対して皆様のご理解と多大なご支援を頂き、御礼申し上げます。



公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会
理事長 後藤 勇

新年のご挨拶



地球規模で海洋環境が変化していく中で、水産資源の分布や変動も過去の経験で予測がつかなくなっています。
相模湾では昨年に引き続き、ヒラメが豊漁でしたが、持続的な漁獲を確保していくには、資源の管理を今以上にいたすうえで、種苗放流を続け

ていくことが必要と考えています。
また、磯根では、アイゴやガンガゼの被害を軽減し、アラメ・カジメの海中林を回復していく、アワビサザエの餌料を確保していくことが、資源を回復する一歩となることを期待しています。

この理由については、不明の点も多いのですが、東京湾の底層で夏から秋にかけて貧酸素水塊が広がっていることが疑われています。
この原因は埋め立て地を造成するため浅場を少なくしたことや、東京湾の海底を深掘したことなどが言われています。

栽培漁業は、畑づくり、種づくり、人づくりが大切です。栽培漁業協会は種づくりに努力していきますが、畑づくりと人づくりは漁業者と県民みんなの力をあわせて豊かな相模湾と東京湾を作っていきますように。
今年も皆様方のご健勝と大漁を祈念して新年のご挨拶とします。

今年も皆様方のご健勝と大漁を祈念して新年のご挨拶とします。



ヒラメ種苗放流

ヒラメ 漁獲量と種苗放流 混入率について

神奈川県におけるヒラメ漁獲量を統計値がある一九五二年から見てみると、一九五二〜一九七六年の漁獲量は増減の変動はあるものの四十二〜百二十トンを推移していたが、一九七七年以降は急激に減少し始め一九八七年には過去最低の二十二トンまで減少した。

一九八七年から開始された種苗放流の翌年から漁獲量が増加し始め、一九九七年には七十八トンまで回復した。その後は増減を繰り返して、二〇〇七年には五十五トンまで低下したが、二〇〇八年以降は増加に転じ、二〇一四年は速報値ではあるが百六トンと一九七六年以来の百トン台となった。

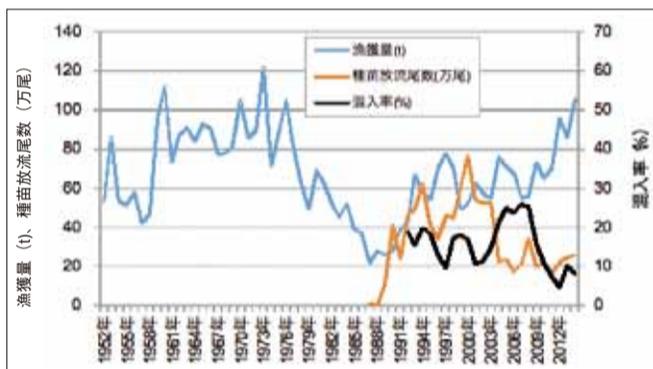


図 神奈川県におけるヒラメ漁獲量、種苗放流尾数及び混入率

混入率(放流魚の割合)についても、種苗放流尾数が多い年よりも若干の遅れはあるものの一九九二〜二〇〇八年の混入率は九・七〜二〇・〇%であったが、二〇〇九年以降は減少に転じた。近年五年間は四・六〜一〇・九%とやや低下傾向で推移している。(図)

このように、近年、ヒラメ漁獲量は、種苗放流が減少しているにもかかわらず、増加してきている。この殆どは、天然魚が増えていることが要因であり、漁具規制や漁獲規制などの資源管理の効果と考えられる。しかし、漁獲尾数から求めた天然魚の資源尾数の解析結果は二〇一一年を境に減少に転じており、今後の資源動向には注意していく必要がある。

神奈川県水産技術センター
櫻井 繁

潮騒

神奈川県で二枚貝の養殖を行うこと
で漁業者の収入安定を
目指そうという取り組み
が始められました▼
すでにカキ養殖は行
われ、販売までされる
ようになっていま
すが、今度は、ホタ
テの養殖に取り組み
ことになりました▼
ホタテの養殖に取り
組んでいるのは、横
浜市漁協柴支所です。
平成二十五年度に青
森県から稚貝を購入
して柴漁港で養殖試
験を開始しました▼
夏季は水温が高くム
ラサキイガイやフジ
ツボなどが付着する
ため養殖を続けるこ
とができませんが、
冬季は水温が東北以
北と比べ高いので成
長が早いそうです▼
一方、カキは平成二
十一年から横須賀市
東部漁協が養殖試験
に取り組み、今では
殻付きで年間一トン
を生産しています▼
神奈川県は東京湾の
水産資源増大につな
がれば、と支援して
います。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

全国においしさを運びます
タムラ運輸サービス株式会社
代表取締役 田村 琢馬
本社
〒239-0831
横須賀市久里浜一丁目二〇〇二一
TEL 046-843-4222
FAX 046-843-4222
長井営業所
〒238-0316
横須賀市長井五丁目二四七
TEL 046-857-4664
FAX 046-857-4669

相模湾遊漁問題
対話推進協議会
会長 久保田源太郎
〒250-0021
小田原市早川一〇一
TEL 0465-215989
FAX 0465-215514

環境保全と水産業の振興を
公益財団法人
相模湾水産振興事業団
理事長 武井 正
〒250-0021
小田原市早川一〇一
TEL 0465-215989
FAX 0465-215514

東京湾遊漁船業協同組合
理事長 飯島 正宏
〒140-0002
東京都品川区東品川一七一
TEL 03-347-1740
FAX 03-345-8835

公益社団法人
全国豊かな海づくり推進協会
会長 岸 宏
〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町九十六
小伝馬町松村ビル六階
TEL 03-565-1350
FAX 03-565-1350

平成27年度活魚運搬船によるマダイ放流(供給事業含む)

放流場所	事業分	協力金	小計	相模湾事業団	日釣工	西部事業団	みうら漁協	江ノ島片瀬	二宮町	合計
金沢	25,000	14,000	39,000		50,000					89,000
久里浜	50,000	24,000	74,000		100,000					174,000
松輪	50,000	15,000	65,000		50,000		9,000			124,000
小田和湾	25,000	1,000	26,000			8,000				34,000
葉山	25,000		25,000	10,000						35,000
腰越腰		8,000	8,000	10,000						18,000
江ノ島片瀬	25,000	8,000	33,000	0				18,500		51,500
茅ヶ崎	25,000	5,000	30,000	10,000						40,000
二宮・大磯・平塚	25,000	2,000	27,000	25,000					5,000	57,000
小田原	25,000	4,000	29,000	20,000						49,000
岩			0	5,000						5,000
真鶴	25,000		25,000	10,000						35,000
福浦			0	10,000						10,000
合計	300,000	81,000	381,000	100,000	200,000	8,000	9,000	18,500	5,000	721,500



放流されるマダイ種苗

平成二十七年の度、マダイ種苗放流は、八月八日に東京湾の横浜市金沢区沖から湯河原町福浦までの十三か所での十三か所での七十二万五千五百尾を四百トンの活魚運搬船を借り上げて行いました。平均全長は七十五ミリメートルでした。

平成27年度 マダイ種苗 七十二万尾放流

平成二十七年の度、マダイ種苗放流は、八月八日に東京湾の横浜市金沢区沖から湯河原町福浦までの十三か所での十三か所での七十二万五千五百尾を四百トンの活魚運搬船を借り上げて行いました。平均全長は七十五ミリメートルでした。

表に示すように事業分は、栽培漁業協会に納付して頂いている漁業者負担金、遊漁協力金分、協力金はマダイ釣人・釣船が二十六年に寄付して頂いた分です。これらの資金で放流した尾数は三十八万一千尾です。

公益財団法人相模湾水産振興事業団、日釣工(つり環境ビジョン)、西部事業団(横須賀西部水産事業団)、みうら漁協、江の島片瀬漁協、二宮町はそれぞれの団体に種苗を買って頂き放流したものが三十四万尾でした。

活魚運搬船での放流外、東京湾南部水産振興事業団で一万三千五百尾、その他各種イベント等で六千九百尾を放流しました。これらを合計すると七十五万尾を平成二十七年に放流しました。

この種苗が漁獲されるのは三年後からで、主に四年から六年後に回収が期待されます。

は、栽培漁業協会に納付して頂いている漁業者負担金、遊漁協力金分、協力金はマダイ釣人・釣船が二十六年に寄付して頂いた分です。これらの資金で放流した尾数は三十八万一千尾です。

藤沢市漁協・葉山組合長 漁協運動功労者表彰



葉山組合長

当協会の理事でもある藤沢市漁協の葉山一郎組合長は、昨年十一月十九日に東京千代田区の如水会館で開催された二〇一五年度漁協運動功労者表彰式で表彰されました。葉山組合長は、長年にわたり同漁協の組合長として漁協の経営安定に努

め、当協会理事をはじめ神奈川県漁連役員などの要職も歴任し

また、水産資源の維持増大を目指し、ハマグリ稚貝の放流やナガラミの資源管理に取り組んできました。その結果、これらの貝類は安定して漁獲され、特にハマグリは、藤沢市民などが朝市で購入するのを楽しみにするまでになっています。また、藤沢市と協力して「ハマグリ種苗放流体験イベント」を開催するなど、市民との交流に積極的に取り組んでいることが評価されて表彰されました。



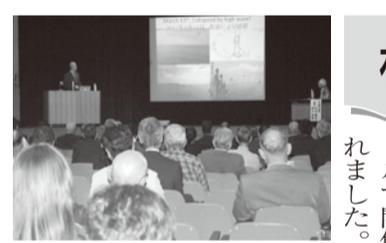
落水デモ

神奈川県漁業無線協会 小型船舶救急支援装置説明会開く

一人乗り漁船などの船舶乗組員が誤って海に転落したり急病に罹ったときに直ちに救援体制がとれるようにする「小型漁船救急支援装置」の説明会(磯部進会長)です。同協会では、神奈川県が整備した受信装置が、昨年四月から漁業無線局で運用が開始され、また、漁業者が救急信号発信装置を取り付ける際、沿岸漁業改善資金が使えるようになり、救難体制が一段と整ったと話しています。

この装置を開発したメーカーの説明の後、漁船から人が落水すると直ちに陸上の救急信号受信装置のサイレンが鳴り出し、参加した漁業者は、その速さに驚きの声を上げていました。

説明会を行ったのは神奈川県漁業無線協会(磯部進会長)です。同協会では、神奈川県が整備した受信装置が、昨年四月から漁業無線局で運用が開始され、また、漁業者が救急信号発信装置を取り付ける際、沿岸漁業改善資金が使えるようになり、救難体制が一段と整ったと話しています。



シンポジウム会場

相模湾シンポジウム開く

第三十九回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウムは、「相模湾の定置網漁業の現状、課題と今後の方向について」をテーマに、昨年十月二十日、小田原市生涯学習センターホールで開催されました。

東京海洋大学の有元貴文氏が「外から見直す日本の定置網漁業」現状と今後の課題」について基調講演を行いました。福井県の鮎川航太氏が「若狭湾の定置網漁業と魚群行動調査の可能性」、静岡県の鈴木勇己氏、神奈川県の高村正造氏が「相模湾の定置網漁業の漁獲量と魚種組成の推移」、網代漁業の泉澤宏林晋也の両氏が「定置網で漁獲される魚の価格向上の取り組み」と題し話題を提供しました。

一月八日 漁業者交流大会

平成二十七年神奈川県漁業者交流大会は一月八日午後一時から、横浜市栄区のあーすぶらざで開催されます。

合計四名の漁業士認定書授与式のあと、「横須賀の新ブランド「養殖カキ」」について活動発表、引き続き、県漁業士会の活動紹介、磯焼けなどについて話題提供が行われます。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

株式会社リビエラリゾート
シーボニアマリーナ

〒238-0225
三浦市三崎町小網代二二八六
TEL 〇四六八八二二二二

神奈川県しらす船曳網漁業
連絡協議会

会長 杉山 武

〒二五四一〇八〇三
平塚市千石河原一八一三
TEL 〇四六三三二二一〇一四六
FAX 〇四六三三二二一五七二九

東京湾南部水産振興事業団

理事長 岩崎 一郎

〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜八一九五
TEL 〇四六八三三四一三五九六
FAX 〇四六八三三四一三六九〇

神奈川県漁業無線協会

会長理事 磯部 進

〒238-0232
三浦市晴海町一七
TEL 〇四六八八二二二七八四

漁船漁業を守ります。
神奈川県漁船保険組合

組合長理事 太田 謙

〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二一〇二二
TEL 〇四五七七二一七三〇一
FAX 〇四五七七二一七三九二〇

神奈川県漁業協同組合連合会

代表理事会長 高橋 征人

〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二一〇二二
TEL 〇四五七七三六七七七



カサゴ

種苗放流



ヒラメ

◆横須賀 ヒラメ
昨年六月七日、百五十人が参加し、横須賀市長井町の荒崎海岸で、浜辺のクリーンフェスタに参加していた親子づれ百五十人が、千尾のヒラメ種

当協会は、神奈川県下の海を豊かにするために、水産種苗の生産・放流、配布事業などに取り組んでいます。県下各地の種苗放流イベントにも参加しています。当協会が生産したマダイ、クロダイ、カサゴに加え、当協会が確保したヒラメ種苗の放流も行いました。

◆金沢 カサゴ
六月二十五日、横浜市・金沢小の五年生百三十二人が授業の一環として遊漁船に乗り沖に出て千尾のカサゴ種苗を放流しました。

◆平塚 ヒラメ

七月一日、平塚漁港でヒラメ種苗千尾の放流イベントが行われました。地元の小・中学校の児童が体験授業の一環として遊漁船で沖に出て放流しました。

◆横須賀 カサゴ

横須賀市海辺釣り公園で釣り大会に参加していた子どもたち五十人が、七月二十日、千尾のカサゴ種苗を放流しました。



マダイ

種苗放流

クロダイ

七月二十日、千尾のカサゴ種苗を放流しました。横須賀市海辺釣り公園で釣り大会に参加していた子どもたち五十人が、七月二十日、千尾のカサゴ種苗を放流しました。

平成27年度 栽培普及啓発事業
県下の海を豊かに! 各地で種苗放流

◆小田原 マダイ
小田原みなと祭りが開催された八月二日、地元関係者三十人が漁船に乗り沖に出て千尾のマダイ種苗を放流しました。NPO法人小網代パール海育隊が主催したもので、栽培漁業PRコーナーを設け、稚魚の展示などを行いました。

◆横須賀 カサゴ

八月二十九日、横須賀海辺釣り公園で五十人が参加しカサゴ種苗千尾の放流が行われました。七月二十六日に次いで二度目の放流でした。

◆横浜 クロダイ

九月五日、横浜・本牧海釣り施設で、子どもたちなど百人がクロダイの稚魚千尾を放流しました。横須賀市海辺釣り公園で釣り大会に参加した親子連れなど六十人がクロダイ種苗を放流しました。

◆三浦 マダイ

九月十一日、三浦市・名向小の四年生五十人が小網代湾に千尾のマダイ種苗を放流しました。NPO法人小網代パール海育隊が主催したもので、九月二十三日、横濱ベイサイドマリーナは、「YBM海の学校」事業の一環として、四十人が参加するマダイ稚魚千尾の放流を行いました。

◆横浜 マダイ

◆鎌倉 マダイ

鎌倉市・腰越みなとまつりが九月二十七日に開催され、来場した百五十人の親子が六百尾のマダイ稚魚を放流しました。

◆横須賀 クロダイ

十月四日、横須賀市長井町の荒崎海岸のクリーンフェスタに参加した親子連れなど六十人がクロダイ種苗を放流しました。

◆川崎 クロダイ

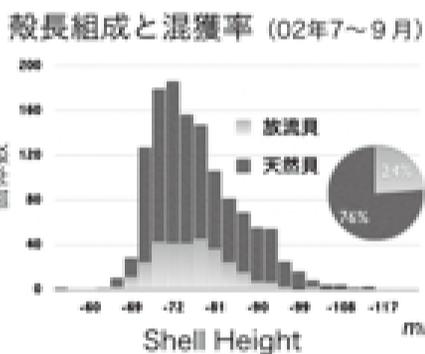
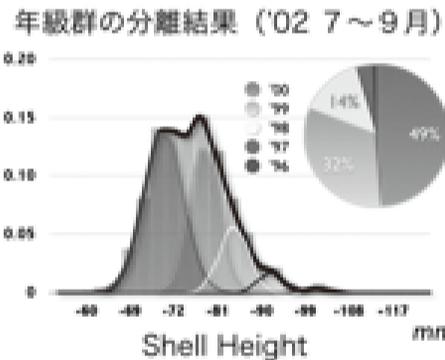
十月十日、川崎市の東扇島公園の人工海岸で九十人が参加して二千尾のクロダイ稚魚を放流しました。

さいばい漁業つて何

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会

専務理事 今井利為

サザエの混獲率



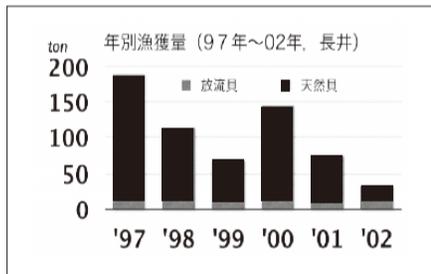
長井町漁協における市場調査結果

(左) : 漁獲物中放流貝の占める割合(混獲率)は24%であった。(右) : 図2のグラフの内、放流貝の部分年齢分解した結果放流後2年及び3年の放流貝で81%を占めていた。

滝口(未発表)

回収率

サザエの回収率はアワビと比較すると非常に高く、二十から四十パーセントに達しています。長井町漁協では放流員・天然貝を合わせたサザエの年漁獲量は、三十から百八十トンと大きく変動します。そういった中で



費用対効果

放流貝の漁獲は年平均十トンと安定しています。二〇〇二年は全体の漁獲量三十三トンに対し放流貝が十・二トン占めていました。

表1 放流年別回収率及び経済効果等の推定結果(調査期間:平成10年4月から平成15年3月 長井町漁協)

Table with 9 columns: 放流年, 調査期間中の回収数, 放流量, 回収率(%), 水揚金額(円), 放流経費(円), 経済効果(水揚金額/放流経費), H6, H7, H8, H9, H10, H11, H12, H13.

注: 調査期間 平成10年4月から平成15年3月

(つづく)

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

Advertisement for 株式会社 パル (Kasei Co., Ltd.) with contact information for representative director 菅野茂樹.

Advertisement for 焼肉食堂 げんこつや (Genkotsuya) with contact information for representative director 藤木治夫.

Advertisement for 有瀬戸佐真センター (Ariseno Jomai Center) with contact information for representative director 藤木治夫.

Advertisement for クロレラ工業株式会社 (Kurore Industrial Co., Ltd.) with contact information for the production department.

Advertisement for 株式会社 鈴木組 (Kawazumi Co., Ltd.) with contact information for representative director 脇山俊.



朝市・直販所めぐり

サザエ・鎌倉海老(イセエビ)などを生産者価格で販売 鎌倉漁協の販売部会直売所

鎌倉漁協は、所属の漁業者が漁獲する魚介類の価格安定を目的とし、二つの水槽を持ち、また、冷蔵庫、製氷装置を装備した販売部会直売所を運営しています。ここでは周年サザエを販売しています。電話やメールで予約を受け付けていますが、特に有名な「鎌倉海老」と呼ばれるイセエビを生産者価格で販売し、お客さんに大好評です。



温度管理も実施している水槽

漁模様によって販売している魚は違いますが、ヒラメ、メバル、カサゴ、メジナ、シタビラメ、カワハギなどです。イセエビ、魚類は水槽の水温を十五度C、サザエなどの貝類は十八度Cで管理し、活きのよい魚介類を提供しています。

- 【アクセス】江の島電鉄の長谷駅を下車し、海岸に向かい、国道134号線を江の島の方向に向かい、徒歩7~8分で鎌倉漁協(鎌倉市坂の下32-13)に到着します。
営業時間:午前9:00—午後4:00(土・日・祝祭日は休み)
- 【問い合わせ先】鎌倉漁業協同組合
0467-22-3403

マダイ資源増大に役立ててと今年もシマノから多額の寄付



寄付を受ける今井専務

「ハギマスタ」参加者からも

リビエラリゾート

これまで、「マダイ資源の維持・増大のために」と繰り返し当協会に多額の寄付を続けてきた。平成十三年度の当協会の「マダイ遊漁者協力金制度」スタート時から寄付していただいております。これまでその総額は、約千八百万円に達しています。

また、リビエラリゾートは、昨年十一月に開催した「ハギマスタ」2015の参加艇の参加費の一部である八万五千円を当協会に寄付してくれました。

「マダイ資源の維持・増大のために」と繰り返し当協会に多額の寄付を続けてきた。平成十三年度の当協会の「マダイ遊漁者協力金制度」スタート時から寄付していただいております。これまでその総額は、約千八百万円に達しています。

また、リビエラリゾートは、昨年十一月に開催した「ハギマスタ」2015の参加艇の参加費の一部である八万五千円を当協会に寄付してくれました。



栽培漁業施設を見学

その後、同グループ一行は当協会の今井利為専務が案内し、栽培漁業関連施設を見学しました。代表は、今後同グループとして機会あるごとに当協会の事業を支援します、と話しています。

「かざして募金」の中止について

平成26年7月から当協会は、ソフトバンクモバイル株式会社が提供する「かざして募金」に登録し、募金ができるシステムに参加してきました。しかし、募金金額がシステム維持管理費と比較して大幅に低いため、「かざして募金」の登録を平成27年10月で取り消すことにしました。今まで「かざして募金」にご寄附頂きご協力いただいた方々には御礼申し上げます。

KTグループ・神奈川トヨタ商事 栽培漁業振興に役立ててと寄付

KTグループの神奈川トヨタ商事(高橋正夫社長)は昨年九月十六日、三浦市三崎町城ヶ島の当協会を訪れ、栽培漁業の振興に役立ててほしい、と十万円を寄付してくれました。また、同グループの上野建彦代表からも個人として五万円の寄付をいただきました。

そのような事業を展開する中で、当協会が水産種苗の生産・放流・配布などを行い、水産資源の維持・増大に懸命に取り組んでいることを知り、海に親しみ、楽しんでもらうことを一つの事業として行なう事業を

企業として、何らかの協力ができないかと考え、今回、当協会に寄付を行うことにしました。

今後、同グループは、寄付活動を行うなど、当協会に対する支援を行うとともに、種苗放流イベントなどを通じて協力を継続していく方針です。

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

Brine Shrimp EGGS-90

株式会社 **北村**

〒604-0051 京都市中京区二条油小路町291
TEL 075-221-6695

売上の一部が放流事業に寄付される自販機設置にご協力ください。

サントリービバレッジサービス株式会社

TEL 045-573-6366
FAX 045-573-2858

午後の紅茶®